

大倉山

外島 正明

■山行年月日:平成 30 年 1 月 28 日

■メンバー:須藤夫婦 栗田光基

外島正明

今日は総会。例年明神へ登っていたが、栗ちゃんと「今まで行ってないエリアを滑ろう」、と話していたので前から聞いていた大倉山に行くことにした。

高郷の実家へ用事のある須藤君と 2 台で出かける。野沢から安座の集落を目指す。私は初めての山域である。ピーンと張り詰めた空気が里に広がっていた。林道入り口付近に車を止めると、これから出発する 4 名のパーティーがいた。このルート経験者の須藤君と話をしている。あとから聞くと東京から来たパーティーだとか。インターネットを見て来たとか、今はGPSがあれば何処へでも行けることにびっくりした。我々も後を追いついて出発する。前日雪が降ったらしく、スキーでも靴が隠れるくらいのラッセルである。先行パーティーのトレースがあるので助かった。しばらく林道を進む。新潟県へつながる峠道があるらしいがいまは雪の中である。だんだん林道の形がはっきりしなくなるころ、東京パーティーに追いついた。周りは杉の植林地帯。唯一ルートを知っている須藤君は遅れてしまった。今度は私たちがトップをいく番。東京パーティーのGPSと私の地図で確認して杉の植林地帯を直登する。だんだん広葉樹の林になり、明るい斜面が上へと延びていた。須藤君も追いついて1本とする。東京パーティーは50

~70 歳の 4 名で、ネットを調べてあっちこっちに行っているとか、こんなマイナーな山まで来るのかとびっくりした。天気は良くキラキラ輝いて、私を別世界に導いてくれる。栗ちゃんと私とでトップを交代しながら登ると、11 時過ぎ山頂へ着いた。樹氷の木々と初めての山々が私を迎えてくれた。東京パーティーと須藤君もほどなく着き山頂で昼食とした。しばらく山スキーの談笑をして心が温かくなる時間を過ごした。今日は総会、急いで下山の準備をする。スキー靴が隠れるくらいの新雪だが、軽いので回れそう。滑り始めると、途中休憩したところまで歓声を上げて滑り降りる。傾斜も丁度いいし、木々もまばらなので楽しい滑りだった。これだから山スキーはやめられない。楽しい時間はアツと言う間で杉の植林地帯へ入ってしまった。あとは安全運転に切り替えよう。林道も以外と滑れ、途中ショートカットもあり 13 時 30 分には車についた。東京パーティーに会津の山スキー向きの山を尋ねられる。いやはや元気な人達である。これから総会、急がなければ。

さあ、
これから滑るぞ！

